

・ポイント

計画期間：平成20年3月～平成25年3月（5年）

1. 概況

- ・平成20年6月に市長が交代。引き続き中心市街地活性化を推進する方針
- ・活性化の拠点施設と位置付ける官民複合施設「B i V i 藤枝」が平成21年2月に、複合商業施設「オーレ藤枝」が平成22年2月にそれぞれオープン
- ・認定後、駅前商店街でまちづくり機運が高まり、一部権利者による共同建替から周辺も含めた再開発を目指すこととなり、平成21年3月に「再開発協議会」を設立
- ・認定後、民間レベルでもまちづくり機運が高まり、青木地区でインキュベーション施設等を含む新たな複合商業施設の計画が生まれ、平成21年12月に着工
- ・駅前地区の早期活性化を図るため、「藤枝市文化センター」のリニューアルを当初計画から2年前倒して平成21年度に実施。市民の活動・交流拠点として再生
- ・駅前地区の具体的な整備方針を明確に定めた「藤枝駅前地区市街地総合再生計画」が平成21年3月に国土交通大臣から認定
- ・藤枝駅南のメインストリートオープンモール化実証実験を平成21年度に実施。17日間で約5万人の来街者あり
- ・大型マンションの供給や計画が続き、民間主導により街なか居住は順調に進む。引き続き居住環境整備が課題
- ・総事業67事業のうち、7事業が完了し、43事業が実施中。16事業が未着手となっている
- ・平成22年3月に計画を変更し、2つの再開発事業を統合し「藤枝駅北口・日の出町地区市街地再開発事業」として新規位置づけ。さらに新たなスポーツイベントの誘致・連続開催事業を新規追加し、集客力向上による活性化推進を図る

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	見通し
人々が集い、快適・満足に、はつらつとすごせるまち	歩行者通行量	6,755 (H18)	8,400 (H24)	5,509 (H21)	
	宿泊客数	41,488 (H18)	61,500 (H24)	111,555 (H21)	
結びつきに支えられ、健やかに暮らせるまち	公共施設利用者数	661,955 (H18)	947,000 (H24)	963,559 (H21)	

注) 取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。  
 取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。  
 取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。  
 取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。  
 取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

### 3. 目標達成見通しの理由

- ・歩行者通行量

進捗していない取組はあるものの、取組が実施された駅南地区の複合商業施設前で前年度比41.3%の増加になるなど効果が発現されており、その他の取組を着実に進めることにより、目標値の達成は可能であると見込まれる

- ・宿泊客数

進捗していない取組はあるものの、既に目標値を5万人上回る数値（基準値より7万人増）を達成しており、現在の取組を持続することにより目標値の達成は可能であると見込まれる

- ・公共施設利用者数

取組の1つである新図書館が平成21年2月に開館し、目標を大きく上回る入館者数を記録していることから、その他の施設も取組を持続させることにより目標値の達成は可能であると見込まれる

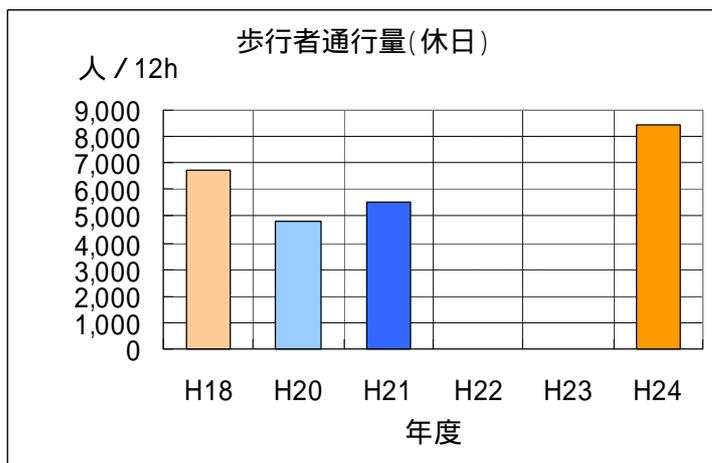
### 4. 今後の対策

- ・目標指標の数値は想定以上の数値を達成しているものの、一部取組の効果発現により大きく数値を引き上げている要素があるため、その取組効果の維持とともに、全体効果としての目標達成となるよう、引き続きその他の取組も着実に進める
- ・拠点施設のハード整備による効果発現を維持し、さらに拡大させるため、様々な主体の連携によるソフト事業を継続的に展開する
- ・再開発事業等で、権利者の合意形成や事業手法の変更により事業が長期化し効果発現が遅れる取組もあるが、関係機関との連携や積極的な支援によりできる限り早期の事業化を目指す
- ・既に目標値を上回る数値となっている指標について、今後の推移を見極めながら、目標年度においても確実に目標値を達成できるよう引き続き取り組みを推進する
- ・一時的なイベントによる来街者数の増加を、恒常的な来街者増加に繋げるため、各取組間での連携（ソフト事業によるハード事業同士の有機的連携）を推進する
- ・認定後の状況変化により、予定実施期間を経過して未着手となっている事業について、事業内容や事業手法の転換等を早期に検討し、事業化を推進する
- ・住宅供給に追いつかない公共サービス等の住環境整備を、市街地再開発事業等と連携して推進し、特に課題となっている駅北地区の賑わい、コミュニティ再生を図る
- ・「居酒屋から藤枝を元気にする会」や「駅南地区活性化協議会」等、市民や民間レベルでの自発的なまちづくりの取り組みが進んでおり、各目標指標の達成に向けた取り組み効果を底上げする効果が期待される

・目標「人々が集い、快適・満足に、はつらつとすごせるまち」

「歩行者通行量」 目標設定の考え方基本計画 P38 参照

### 1. 調査結果の推移



年	(単位：人)
H18	6,755 (基準年値)
H20	4,811
H21	5,509
H22	
H23	
H24	8,400 (目標値)

調査月：2月

調査主体：藤枝市

調査対象：歩行者 休日及び平日の12時間(8:00~20:00) 駅南北主要4地点  
自動車(参考) 休日及び平日の12時間(8:00~20:00) 駅南北主要2地点

### 2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

藤枝駅周辺にぎわい再生拠点施設整備事業 [BiVi 藤枝計画](大和リース株)

(BiVi 藤枝施設整備事業)

事業完了時期	【済】H20
事業概要	J R 藤枝駅南側に位置する市立病院跡地に、民間活力導入により図書館を含む官民複合施設「BiVi 藤枝」を整備。集客力のある民間施設(シネコン・商業店舗)と公益施設(図書館)の相乗効果で賑わいを創出
事業効果又は進捗状況	・平成21年2月28日にオープン ・オープン初年度で年間目標来館者数120万人を上回る約164万人の来館者数を記録。施設前における歩行者通行量が前年度比で41.3%増加

藤枝駅周辺にぎわい再生拠点施設整備事業 [BiVi 藤枝計画](大和リース株)

(BiVi 藤枝周辺地区活性化事業)

事業完了時期	【実施中】H21
事業概要	市民参加型イベントや周辺地区連携イベント、公共交通連携イベントを実施し、地域全体での集客力向上、賑わい・交流創出、公共交通の利用促進を図る
事業効果又は進捗状況	・平成21年2~3月にオープニングイベント開催 ・スタンプラリーに周辺商店街の32店舗が参画し、671名が参加 ・イベント期間中バス利用者が倍増 ・現在、1周年記念イベント(クイズラリー等)を開催中

新図書館整備事業（藤枝市）

事業完了時期	【済】H20
事業概要	J R 藤枝駅南側に位置する市立病院跡地に、民間活力導入により整備する官民複合施設「BiVi 藤枝」の一部（約 3,300 m <sup>2</sup> ）を藤枝市が賃借し、収蔵能力 30 万冊の「藤枝市立駅南図書館」を整備
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年 2 月 28 日に開館</li> <li>・開館初年度で年間目標利用者数 26 万人を大きく上回る約 50 万人の利用者数を記録。施設前における歩行者通行量が前年度比で 41.3%増加</li> </ul>

藤枝駅南口西地区 A B C 街区開発事業 [ 新日邦藤枝駅南口開発プロジェクト ] ( (有)新日邦 )  
 ( A B C 街区複合施設整備事業 )

事業完了時期	【未】H22
事業概要	J R 藤枝駅南口に隣接する市有地を民間活力導入により有効活用し、市の顔にふさわしい都市機能（ホテル、温浴施設、CATV 放送センター、フィットネスクラブ、商業店舗等）が集積する拠点施設を整備する
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 期事業である A 街区複合施設（CATV 放送センター、フィットネスクラブ、商業店舗等が入居）が完了。平成 22 年 2 月 24 日オープン。年間 83 万人の来館者を目標とする</li> <li>・第 期事業である B 街区複合施設（ホテル、温浴施設、商業店舗等が入居）について、昨今の経済情勢や収益性確保、都市計画手続の必要性から着工が遅れているが、平成 25 年中のグランドオープンを目指し整備を進める</li> <li>・事業者と事業計画の推進について協議を進め、計画期間内での着工を目指す。計画期間内での効果発現は困難</li> </ul>

藤枝駅南口西地区 A B C 街区開発事業 [ 新日邦藤枝駅南口開発プロジェクト ] ( (有)新日邦 )  
 ( A B C 街区周辺地区活性化事業 )

事業完了時期	【済】H21
事業概要	周辺地域・商店街連携した市民参加型イベントを実施し、地域全体での集客力向上、賑わい・交流創出を図る
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年 8～9 月に市民参加型イベント「ぐるぐるグルメ de QR」を開催</li> <li>・中心市街地の飲食店 100 店が参画し、1,425 人が参加</li> </ul>

藤枝駅前一丁目6街区市街地再開発事業（再開発組合）

事業完了時期	【未】H26
事業概要	合理的かつ高度な土地利用により細分化された敷地を統合し、藤枝駅前商店街の中心的な立地に相応しい拠点施設を整備し、賑わいと回遊性のある商業空間の形成、街なか居住の促進、居住環境の向上を図る
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定後、事業区域等の拡大や事業手法の変更があり、事業が長期化</li> <li>・ 平成21年3月に準備組織「藤枝駅前一丁目6街区再開発協議会」設立</li> <li>・ 平成21年度に再開発基本計画策定</li> <li>・ 平成22～23年度において、準備組合設立、都市計画決定を目指す</li> <li>・ 計画期間内での事業化を目指して合意形成、計画推進を目指す</li> </ul>

文化センター地区暮らし・にぎわい再生事業（藤枝市）

事業完了時期	【済】H21
事業概要	施設の老朽化により利用度が低下した「藤枝市文化センター」の耐震・改修を行い、市民交流センターや展示場、ホール等を整備し、市民の活動・交流拠点として再生させる
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成21年度に改修工事实施、11月にリニューアルオープン</li> <li>・ リニューアルオープン後4ヶ月で約4万人の利用者数を記録。施設前における歩行者通行量が前年度比で19%増加</li> </ul>

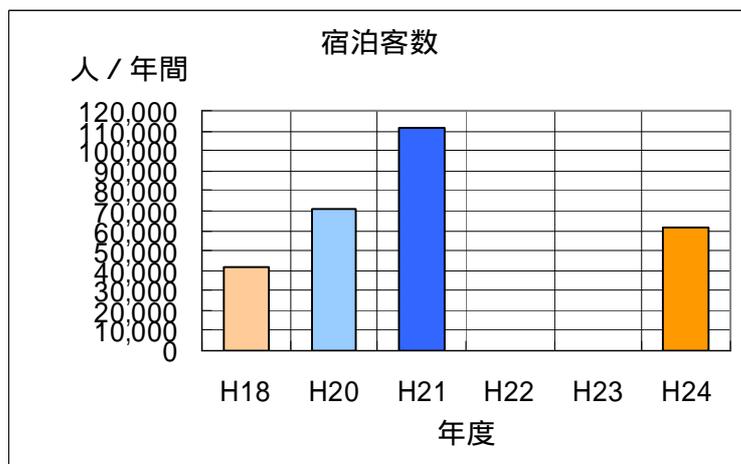
### 3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 取組が実施された「B i V i 藤枝」前で前年度比41%、「文化センター」前で19%の増加と効果が発現されており、新たな取組（オーレ藤枝）も進むことから、着実に取組を進めることにより目標値達成は可能であると見込まれる
- ・ 「文化センター」等において実施される催しの内容により日々の通行量が大きく上下する傾向にあるため、様々な主体の連携による継続的なソフト事業の実施や空き店舗活用事業の推進等により、恒常的な通行量の増加を図る
- ・ 大型商業施設や公益施設への来場者について、想定より自動車利用が高い上、周辺への回遊が発生せずポイントでの集客となってしまっているため、現在駅周辺の大型施設事業者により組織された「活性化協議会」等と共に駐車場利用の共通化や連携した取り組みを推進し、街なかの回遊性を高める
- ・ 通行量が減少している駅北地区において、民間による大型住宅供給事業や業務機能整備事業の支援により、街なかの居住者や従業者の増加を図り、恒常的な歩行者通行量の増加に結びつける
- ・ 特に課題となっている駅北地区の抜本的な再生を図るため、現在UR都市機構と連携して進める「駅北地区連鎖型市街地整備」と、(株)電通と連携して進めている「環境に貢献するまちづくり」を一体的に取り組み、民間企業も含めた多様な主体によるハード・ソフト事業を検討していく

・目標「人々が集い、快適・満足に、はつらつとすごせるまち」

「宿泊客数」 目標設定の考え方基本計画 P38 参照

## 1. 調査結果の推移



年	(単位：人)
H18	41,488 (基準年値)
H20	71,038
H21	111,555
H22	
H23	
H24	61,500 (目標値)

調査月：4月

調査主体：静岡県

調査対象：中心市街地内の7ホテル

藤枝パークインホテル ビジネスホテルイレブン フジエダオガワホテル

藤枝サザンホテル ホテルルートイン藤枝駅北

セラム41 プラザホテル (H20.6 閉館。H20.12 に「ビジネスホテルふじえだ泊」としてオープン)

東横イン藤枝駅北口 (H20.10 オープン)

## 2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

藤枝駅南口西地区ABC街区開発事業 [新日邦藤枝駅南口開発プロジェクト] ((有)新日邦)

(ABC街区複合施設整備事業)

【再掲】P4 参照

全日本女子剣道選手権大会開催事業 (全日本剣道連盟、静岡県剣道連盟)

事業完了時期	【実施中】H17～H26
事業概要	女子剣道の全国大会を中心市街地内に立地する静岡県武道館で毎年開催。中心市街地における交流を促進する
事業効果又は進捗状況	・毎年9月頃に1日開催 (H21.9.27 開催) 330人が参加 ・概ね計画どおりの宿泊客数 (計画：354人、H21:330人) を確保

全国シニアサッカー大会誘致・開催事業 (藤枝市、日本サッカー協会ほか)

事業完了時期	【実施中】H20、H22～H26
事業概要	シニアサッカーの全国大会を誘致し、毎年開催。中心市街地における交流を促進する

事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年5月頃に3日間開催</li> <li>・平成21年度は の日本スポーツマスターズ2009静岡大会開催のため開催なし</li> </ul>
------------	--

日本スポーツマスターズ2009静岡大会開催事業（日本体育協会ほか）

事業完了時期	【済】H21
事業概要	シニア世代を対象にしたスポーツの祭典。本市ではサッカー大会、空手道大会を開催。中心市街地における交流を促進する
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年9月18～22日の5日間開催。1,300人が参加</li> <li>・概ね計画どおりの宿泊客数（計画：4,857人、H21:4,600人）を確保</li> </ul>

ライフル射撃選手権大会誘致・開催事業（藤枝市、日本ライフル射撃協会ほか）

事業完了時期	【実施中】H19～
事業概要	ライフル射撃の全国大会を誘致し、毎年開催。中心市街地における交流を促進する
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年5月2～4日の3日間、全日本選抜大会開催。174人参加</li> <li>・平成21年7月5日、ジャパンカップ開催。94人参加</li> <li>・平成21年7月18～20日の3日間、全日本クラブ対抗大会開催。464人参加</li> <li>・平成21年8月30日、全日本マスターズ開催。136人参加</li> <li>・平成21年12月21～23日の3日間、全日本クラブ対抗大会開催。365人参加</li> <li>・大会の開催関係上計画を下回る宿泊客数（計画：5,731人、H21:4,436人）となった</li> </ul>

青木地区複合施設整備事業 [バンケット棟整備事業] (株)小杉苑

事業完了時期	【実施中】H22
事業概要	老舗婚礼・宴会場を、恒常的な集客のある「食」をテーマにした複合商業施設（バンケットホール、カフェ、レストラン、インキュベーション店舗、まちの駅等が入居）にリニューアルし、観光・交流の拠点とする
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年8月竣工、9月オープン予定</li> <li>・周辺の宿泊施設と連携して、バンケットやコンベンション、レセプションを一元的に誘導する計画であり、宿泊客数の増加や周辺商業への波及が期待される</li> </ul>

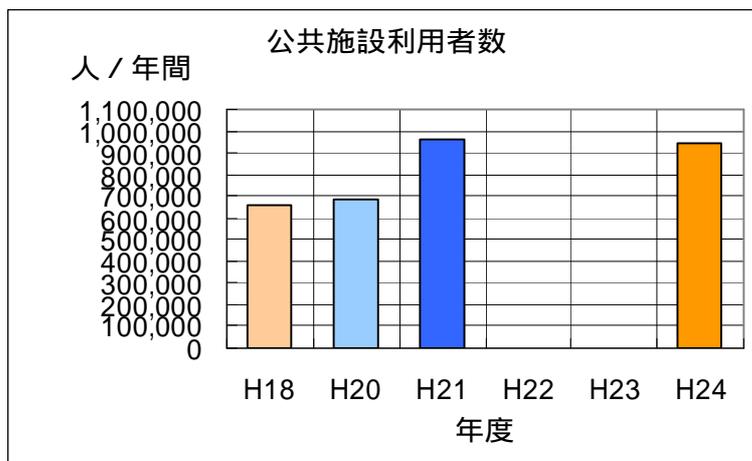
### 3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・大規模なホテル新設が含まれる取組（藤枝駅南口西地区A B C街区開発事業）が進捗していないものの、その他の新規供給のホテルが順調に稼働する中、心配された既存ホテルの宿泊客流出が起こらず従来の稼働率を確保しており、全体として大幅な宿泊客増となっているため、現在の状況を持続させることにより目標達成は可能である
- ・新規供給後の一時的な効果発現も考慮し、暫く推移を見極めながら、目標年度において確実に目標数値を達成できるよう引き続き取り組みを推進するの再検討を検討する
- ・引き続き大規模スポーツ大会の誘致・開催を促進し、安定した宿泊客数と交流の創出を図る
- ・青木地区複合施設を中心に、観光協会や旅行代理店、旅館ホテル組合、飲食店組合等と連携して宿泊や土産、バンケットやコンベンション、レセプションを一元的かつ戦略的に斡旋するネットワークを形成し、宿泊客数の増加や周辺商業への波及を図る
- ・平成21年6月に富士山静岡空港が開港したため、ビジネス客や観光客の誘導を積極的に行い、宿泊客数の増加に努める。同空港の利用者は、需要予測の138万人を大幅に下回り45万人と低迷しているが、県の利用促進事業との連携、旅行代理店や航空会社への働き掛けにより、空港利用者の効果的な誘導を行う
- ・平成22年度以降の空港アクセス道路の開通に合わせ、県やバス事業者等への働き掛けによりJR藤枝駅からのアクセスバス誘致を行い、宿泊者の利便性を向上させる

・目標「結びつきに支えられ、健やかに暮らせるまち」

「公共施設利用者数」 目標設定の考え方基本計画 P38 参照

### 1. 調査結果の推移



年	(単位：人)
H18	661,955 (基準年値)
H20	685,666
H21	963,559
H22	
H23	
H24	947,000 (目標値)

調査月：4月

調査主体：藤枝市

調査対象：中心市街地内の5公共施設

藤枝市民体育館 藤枝市武道館 静岡県武道館 藤枝市文化センター  
藤枝市立駅南図書館

### 2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

新図書館整備事業（藤枝市）

事業完了時期	【済】H20
事業概要	J R 藤枝駅南側に位置する市立病院跡地に、民間活力導入により整備する官民複合施設「BiVi 藤枝」の一部（約 3,300 m <sup>2</sup> ）を藤枝市が賃借し、収蔵能力 30 万冊の「藤枝市立駅南図書館」を整備
事業効果又は進捗状況	・平成 21 年 2 月 28 日に開館 ・開館初年度で年間目標数 26 万人を上回る約 50 万人の利用者数を記録

文化センター地区暮らし・にぎわい再生事業（藤枝市）

事業完了時期	【済】H21
事業概要	施設の老朽化により利用度が低下した「藤枝市文化センター」の耐震・改修を行い、市民交流センターや展示場、ホール等を整備し、市民の活動・交流拠点として再生させる
事業効果又は進捗状況	・平成 21 年度に改修工事实施、11 月にリニューアルオープン ・リニューアルオープン後 5 ヶ月で約 5 万人の利用者数を記録

### 3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・新図書館の整備が平成 21 年 2 月に、文化センターの再整備が平成 21 年 10 月にそれぞれ完了し、利用者が大幅に増加した
- ・新図書館は民間商業施設との複合施設のメリットを生かし、シネマコンプレックスでの上映作品との連携イベント等を開催して付加価値を高め、利用者数の維持、更なる利用拡大を図る
- ・文化センターは市民の交流拠点として様々なソフト事業を展開し、さらに入居団体と周辺商店街等との連携を深め、地域ぐるみで利用促進を図る
- ・利用者数が減少に転じる施設も存在するため、類似する施設の指定管理者間の連携を強化し、各施設の一体的な利用等を促進する
- ・各種スポーツイベントやスポーツ・文化教室等のソフト事業の充実により、施設の利用者増に努める